

目指す児童像

思いやりのある
よく考える
明るく元気な
進んではたらく

海道小だより

第 2 号

平成30年5月発行
宇都宮市立海道小学校
校長 高島 俊幸

朝の元気な挨拶。子どもたちはすぐに水やりをします。1年生は朝顔、2年生はミニトマト、ししとう、なす、きゅうり、おくらなどなど、3年生はホウセンカ、マリーゴールド。子どもたちの思いやりで野菜や花も喜んでいきます。

本年度の学校づくりに向けて

よく考える子ども ～本年度の重点～



◇ 学力向上応援団派遣事業（5月17日）

県教育委員会から2年間、学力向上応援団派遣事業の指定を受けました。学習指導に豊富な知識と経験を有する学力向上専門員が来校し、学力向上システム構築への助言や授業研究などを行います。本年度はその2年目にあたります。子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に育成するよう、授業においては「主体的で対話的で深い学びのある授業」を中心に研究を進めます。第1回は、海道小学校の子どもたちの学力のよいところと今後伸ばしたいところなどの分析や子供たちの深い学びへのアプローチの仕方などを講師の先生に教えていただきました。

◇ 豊郷地域学校園小中運営会議（5月1日）

豊郷中学校を会場に、小中の校長、副校長、教務主任が出席し、豊郷地域学校園小中運営会議を実施しました。地域学校園のテーマは「豊かな郷の生き生きとした子どもたち」です。学力の向上と学習態度・学習習慣の確立や豊かな心と社会性の育成、健やかな体の育成などを各学校の共通のテーマにして取り組むことにしました。

小学校から中学校への9年間の学びを見据えて、本校においても、「海道小スタンダード」を活用し、望ましい学習態度や思考力・判断力・表現力を育てていきたいと思ひます。

地域とともにある学校

- 教育目標の実現に向け、学校・家庭・地域が主体的に当事者として関わっていく必要がある。
- 多様化する社会に対して、地域の方とパートナーとなり子どもを育てる必要がある。
- 学校を、共に学び育ち合う場とし、これからの地域や未来を担う人材を育てる必要がある。

◇ ボランティア会議（5月2日）

ボランティアの内容は、授業や行事、読み聞かせなどの「学習支援」、校舎内外の環境を整える「環境整備」、登下校や校外学習の見守りなどの「地域安全」です。たくさんの方々のご登録くださいました。また、複数のボランティアにご協力くださる方もいらっしゃいます。ありがとうございます。

ボランティアについては常時募集しております。ご協力いただける方はいつでもご連絡ください。

◇ 地域協議会（5月2日）

会長は、小林紀夫様のご継続くださり、25人の委員の方々に委嘱しました。平成30年度の活動計画や予算計画、学校経営方針、学校マネジメント評価書などを説明しました。今後も、地域協議会の皆様とともに学校経営及び児童の育成に努めてまいりたいと思います。

安全・安心な学校

◇ 子ども見守り活動（4月25日）

下校時における安全体制の強化・充実のため、本市の「子どもの見守り活動強化月間」に合わせて実施しました。

下川侯駐在所長、東警察署スクールサポーター、スクールガード、地域安全ボランティアの皆様にご参加いただき、安全な登下校について再確認しました。代表児童があいさつするとともに、全員で、「よろしくお願いします」と感謝の気持ちを伝えました。



◇ 避難訓練（5月14日）

地震、その後火災が発生したことを想定した今年度初めての訓練です。落下物から頭を守る、煙から身を守り緊急避難のための通路を通る。そして、消防署の方が用意してくれた煙が充満した訓練用通路を実際に自分で通り、自分の目で見るとの体験をしました。



◇ プール開放に係る研修会（5月28日）

6月からのプール使用に向け、育成会の保護者を中心に実施しました。健康観察、準備運動、適切な休憩などにより安全を確保することが大切ですが、より、安全な対策及び万が一の事態に備え、東消防署の職員から、心肺蘇生法やAED使用法を教わりました。教員も保護者の皆様も熱心に研修会に参加していました。



行事から

「進んではたらく子ども」に関する行事を紹介します。

田植え（5月11日）

学校北の学校協力者の水田をお借りして、田植えを行いました。学年ごとに説明を受け、おそろおそろ水田に入りました。1年生は、6年生に助けをもらいながら一生懸命植えました。素晴らしい体験をすることで、勤労や作物を育てることへの気持ちが高まりました。



さつま苗植え（5月16日）



プール清掃・除草（5月29日）

